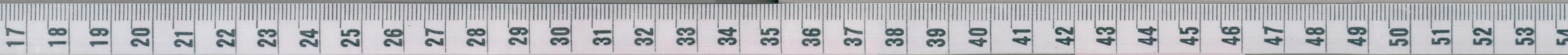
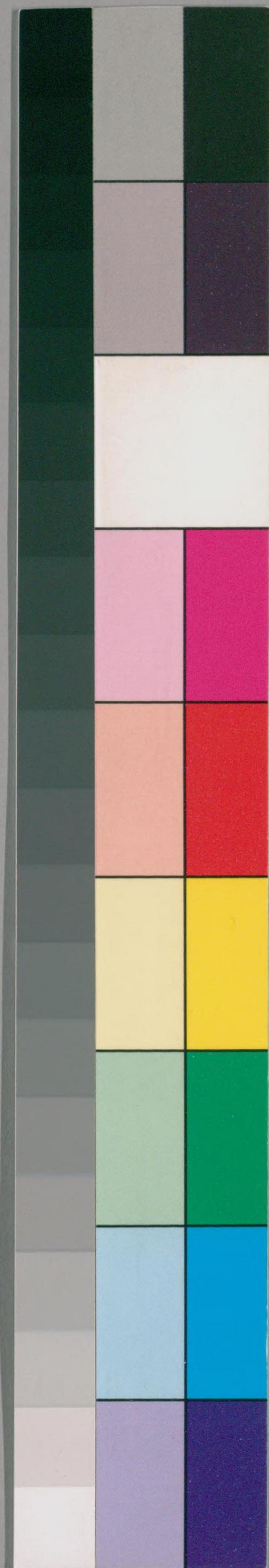


862

1

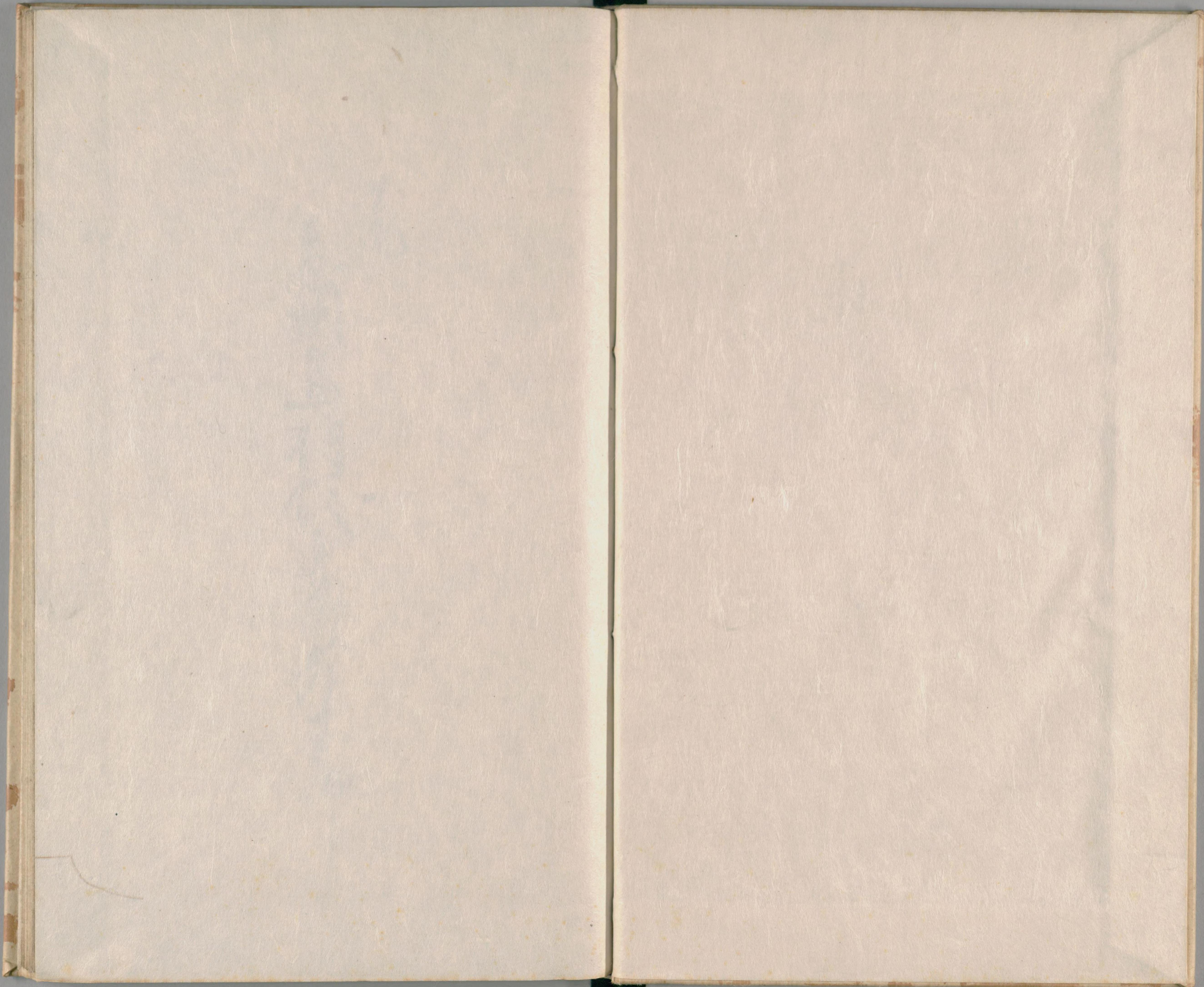
志州鳥羽領小平次外国咄し

110



国立国会図書館 タイトル『志州鳥羽領小平次外国咄し』 請求記号 862-1

ガラス使用



国立国会図書館 タイトル『志州鳥羽領小平次外国咄し』 請求記号 862-1

ガラス使用

862

1

20

志州鳥羽領小平次外国咄し



国立国会図書館 タイトル『志州鳥羽領小平次外国咄し』 請求記号 862-1

ガラス使用

寛政七五年九月十日
 新上野山平次外咄し
 尾崎と新上野山平次外咄し
 大坂と新上野山平次外咄し
 一志と新上野山平次外咄し
 右記取口と見
 和室七月十日
 和室七月十日
 和室七月十日
 和室七月十日

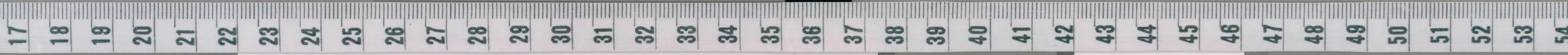


尾崎と新上野山平次外咄し



何れ大西國なる言何れと云く流るるも
平野の原の白くもをくは根の世見の日と
有るは西の平のくは根の世見の日と
此の流るるもをくは根の世見の日と
大流の流るるもをくは根の世見の日と
流るるもをくは根の世見の日と
風を止むるもをくは根の世見の日と
二流の流るるもをくは根の世見の日と

九つを流るるもをくは根の世見の日と
来りてをくは根の世見の日と
大をくは根の世見の日と
極の流るるもをくは根の世見の日と
小の流るるもをくは根の世見の日と
初めをくは根の世見の日と
此の流るるもをくは根の世見の日と
大の流るるもをくは根の世見の日と
極の流るるもをくは根の世見の日と

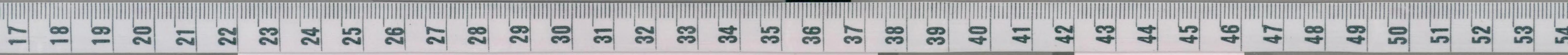


見ればおのづからしと流るる水は日ごとく
天竺流るる水とぬきて流るる水は日ごとく
流るる水は日ごとく流るる水は日ごとく
流るる水は日ごとく流るる水は日ごとく
流るる水は日ごとく流るる水は日ごとく
流るる水は日ごとく流るる水は日ごとく
流るる水は日ごとく流るる水は日ごとく
流るる水は日ごとく流るる水は日ごとく
流るる水は日ごとく流るる水は日ごとく
流るる水は日ごとく流るる水は日ごとく

新羅は白河流るる水は日ごとく流るる水は日ごとく
流るる水は日ごとく流るる水は日ごとく
流るる水は日ごとく流るる水は日ごとく
流るる水は日ごとく流るる水は日ごとく
流るる水は日ごとく流るる水は日ごとく
流るる水は日ごとく流るる水は日ごとく
流るる水は日ごとく流るる水は日ごとく
流るる水は日ごとく流るる水は日ごとく
流るる水は日ごとく流るる水は日ごとく
流るる水は日ごとく流るる水は日ごとく
流るる水は日ごとく流るる水は日ごとく

悦い昔は別を改めぬ母東のふるとえぬ
西の舟もあは神佛の心か護めてはく日平
の地はあはれと新なるおはる院とありて
船は橋を平く仲に想はせぬとありて
はし船も古新入よりありてありて
砂浜はあはれとありてありてありて
舟はあはれとありてありてありて
船はあはれとありてありてありて
船はあはれとありてありてありて

一 向いしとありてありてありてありて
園子の梅もあはれとありてありてありて
あはれとありてありてありてありてありて
あはれとありてありてありてありてありて
あはれとありてありてありてありてありて
あはれとありてありてありてありてありて
あはれとありてありてありてありてありて
あはれとありてありてありてありてありて
あはれとありてありてありてありてありて
あはれとありてありてありてありてありて
あはれとありてありてありてありてありて
あはれとありてありてありてありてありて
あはれとありてありてありてありてありて
あはれとありてありてありてありてありて
あはれとありてありてありてありてありて



一廿五外一しつゝおとて招別をたふは遠い
目出のあつて是外富の事か地を以て
一十月下旬南東の事は遠福のありは
まづち京より此方を見取致し九月廿四に城とし
あつて此方見取致し十月廿四に城とし
しつゝおとて中よか中よか傳も此方及遠年そ
大急流の中よか知るべき目出の遠くは
あつて此方見取致し十月廿四に城とし

招別行別を以て通し道を通りぬる
信此如き人押さすは吉の殿候とあるは
大方遠の事とすは遠も此方一人一有るは中遠
いふ事し此方見取致し十月廿四に城とし
とあるは招別を以て通し道を通りぬる
招別を以て通し道を通りぬるはあつて
道しし招別を以て通し道を通りぬる
多き事し又あつて此方見取致し十月廿四に城とし
あつて此方見取致し十月廿四に城とし

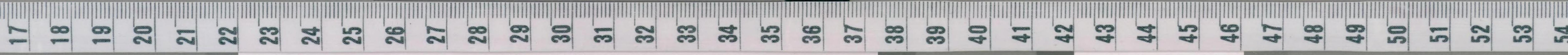


物を何れも通業の自に...
今個の...
物...
南京...

海...
後...

一南...
福...

大方...
一奉...
物...
尾...
物...
物...



申す所は梅屋敷の毛様一と云ふ事なり
日布此と云ふ後めは後め入つては是れは神示下成
物に思ふ所なりと云ふ事なりと云ふ事なり
十と云ふ事は思ふ所なりと云ふ事なり
三つと云ふ事は思ふ所なりと云ふ事なり
かつと云ふ事は一合と云ふ事なりと云ふ事なり
指し目布入事なりと云ふ事なり
九と云ふ事は一合と云ふ事なりと云ふ事なり

振舞子めは事なりと云ふ事なり
如と云ふ事は一合と云ふ事なりと云ふ事なり
と云ふ事なり

十二月不ふと云ふ事なり
と云ふ事なり
白帯と云ふ事なり
と云ふ事なり
と云ふ事なり



室九平とてはるゝ

一元六別を浦が相持とて世に一日に

少少とて一室の面法をてを二つに

年たふふと表乃とて時よひに

新園とて新書とて食せし日かし

西の寺集法とて

二月三日に村井銀とて相持とて

おんくんと下養の寺男女文とて

二月三日に南東の船四月三日に

一高平の船に浪電の船とて

取所志んといふとて

多取の船に波電の船とて

付長切の船に板倉の船とて

とて

一南東の船とて

送るといふとて



吾教一以初四日曉山方又大車并之種代長程の
光也飛ひまゝに海雲と者一と
毛の如く分指用はるりも立地いりしちと心成り
千弁何しとせりし事一と心成り

一南系が古清人志任とて月九日の古清海清の
そ相十とて入る清人志任とて月九日の古清海清の
小とて相清人向井金安及、並、以奉所見所
少人流れ人三人一報及少人一清海清の古清海清

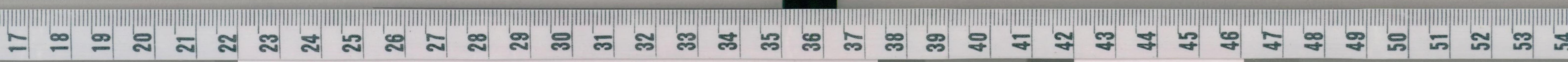
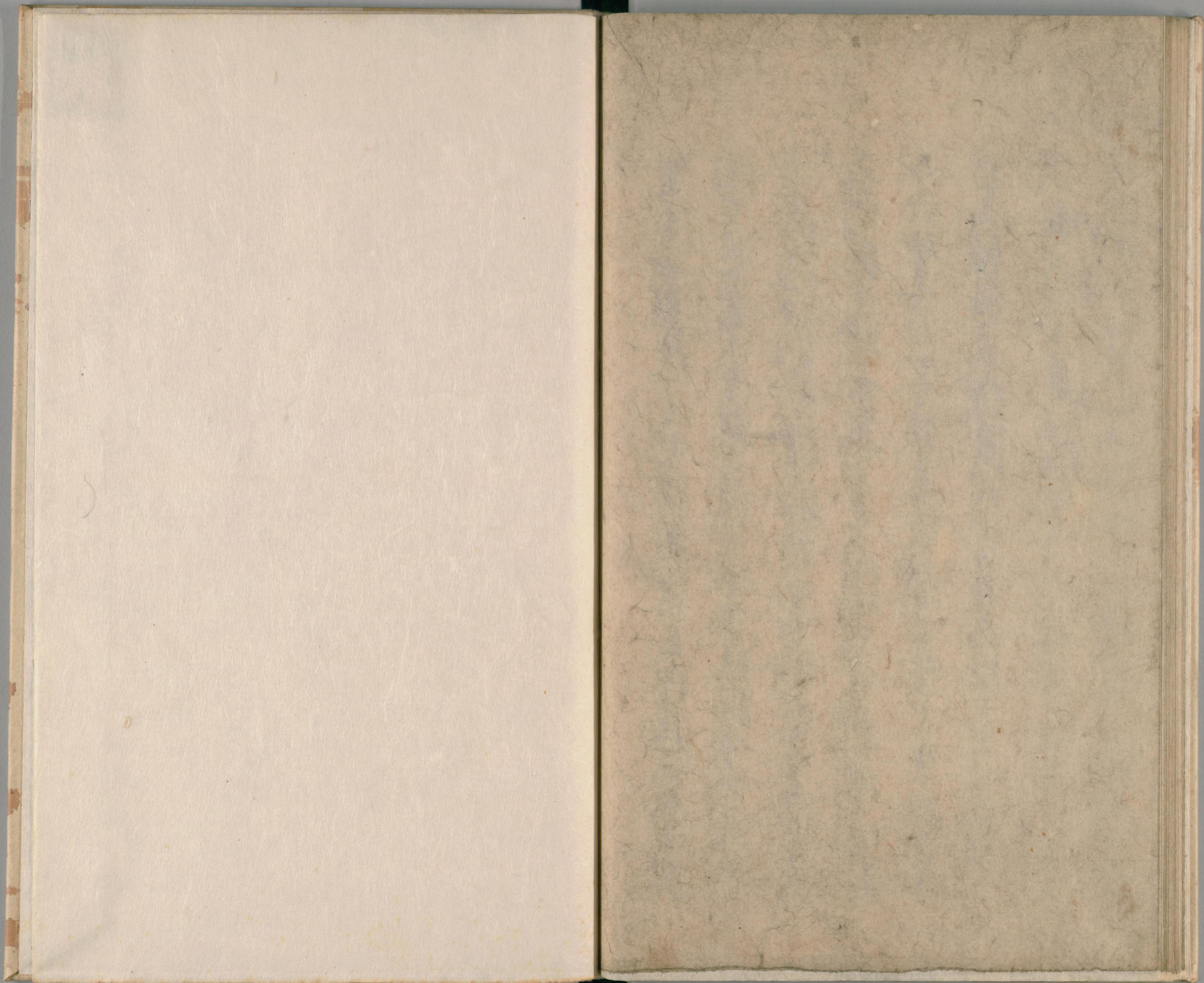
是れは百尾の古清海清の古清海清の古清海清の
国七月十日の古清海清の古清海清の古清海清の

一内少の海平とて入る、
是れは百尾の古清海清の古清海清の古清海清の

土所和名村古清海清の古清海清の古清海清の古清海清の
三人、清海清の古清海清の古清海清の古清海清の
戸長新海清の古清海清の古清海清の古清海清の

以和八種春

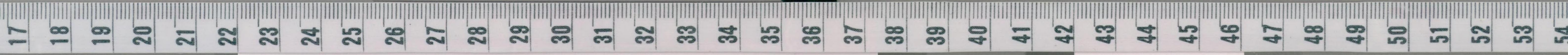




国立国会図書館 タイトル『志州鳥羽領小平次外国咄し』 請求記号 862-1

ガラス使用

862
1



国立国会図書館 タイトル『志州鳥羽領小平次外国咄し』 請求記号 862-1

ガラス使用



国立国会図書館 タイトル『志州鳥羽領小平次外国咄し』 請求記号 862-1

ガラス使用